

【国語科・1年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元の見目標 指導内容 等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	・朝のリレー(1時間)	・詩から感じ取ったことを意識しながら音読する。	・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。		・音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。	<電子黒板> ・授業の流れを提示 ・視聴覚資料の紹介
	言葉に出会うために ・声を届ける(1時間) ・野原はうたう(3時間) ・書き留める(1時間) ・言葉を調べる/続けてみよう(1時間)	・聞き手を意識して、声の大きさ、強弱、間の取り方、高さ、速さ等を工夫して朗読する。 ・情報の整理の仕方について理解を深めたことを基に、自分のノートを整理する。 ・漢和辞典から新たな知識や情報を得て、「言葉の手帳」を作成する。	・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	・音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして声を届けようとしている。	<書画カメラ> ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有 ・生徒の作品・発表指導 <一人1台端末> ・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り

【国語科・1年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元の見目標 指導内容等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
5	1 学びをひらく ・シンシユン(4時間) ・情報を的確に聞き取る(1時間) ・比較・分類(1時間) ・情報を整理して書く(4時間) ・漢字の組み立てと部首/漢字に親しもう1(1時間)	・描写を基に登場人物の関係や心情の変化、場面の展開を捉える。 ・情報の整理の仕方を学び、使用する。 ・目的に応じて情報を観点ごとに分類し、整理する。 ・目的を意識して材料を集め伝えたいことを明確にする。 ・漢字の組み立て、部首について知る。	・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。 ・小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。	・「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	・場面の展開について、描写を基に積極的に捉え、学習課題に沿って感想を交流しようとしている。 ・集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明しようとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	<電子黒板> ・授業の流れを提示 ・視聴覚資料の紹介 <書画カメラ> ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有 ・生徒の作品・発表指導 <一人1台端末> ・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り

【国語科・1年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元の目標 指導内容 等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
6	2 新しい視点で ・ダイコンは大きな根？(2時間) ・ちょっと立ち止まって(3時間) ・意見と根拠(1時間) ・話の構成を考えよう(4時間) ・漢字に親しもう2(1時間) ・言葉のまとまりを考えよう(2時間)	・原因と結果、意見と根拠など情報と情報の関係を理解する。 ・事実と意見、文章の中心的部分と付加的な部分について理解する。 ・単語の種別を理解する。	・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。 ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 ・小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・単語の類別について理解している。	・「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。	・文章の中心的部分と付加的な部分について積極的に捉え、学習課題に沿って筆者の工夫を伝え合おうとしている。 ・進んで要旨を把握し、学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。 話の構成を粘り強く考え、学習の見通しをもってスピーチしようとしている。 ・単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる言葉の単位について理解しようとしている。	<電子黒板> ・授業の流れを提示 ・視聴覚資料の紹介 <書画カメラ> ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有 ・生徒の作品・発表指導 <一人1台端末> ・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り
	情報社会を生きる ・情報を集めよう/情報を読み取ろう/情報を引用しよう(3時間)	・情報の集め方・読み取り方・引用の仕方について理解を深める。	・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 ・「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。	・引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。	<電子黒板> ・授業の流れを提示 ・視聴覚資料の紹介 <書画カメラ> ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有 ・生徒の作品・発表指導 <一人1台端末> ・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り

【国語科・1年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元目標 指導内容等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
7	3 言葉に立ち止まる ・詩の世界(3時間) ・比喩で広がる言葉の世界(2時間) ・指示する語句と接続する語句(2時間) ・言葉を集めよう(1時間)	・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法やその効果について理解を深める。 ・指示する語句と接続する語句の役割について理解を深める。	・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。	・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 ・「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 ・「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。	・文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって詩を創作しようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めようとしている。	<電子黒板> ・授業の流れを提示 ・視聴覚資料の紹介 <書画カメラ> ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有 ・生徒の作品・発表指導 <一人1台端末> ・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り
	書写(2時間) ・基本点画 ・筆遣いと字形	・基本点画や点画のつながりを理解する。	・基本点画の筆遣いや文字の組み立て方、字形の整え方を理解している。		・基本点画を理解しながら、学習課題を正しく把握しようとしている。	
	読書生活を豊かに ・読書を楽しむ(1時間) ・本の中の中学生(1時間)	・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解する。	・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。		・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを進んで理解し、今までの学習を生かして本の魅力や感想を伝え合おうとしている。	

【国語科・1年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元の目標 指導内容 等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
9	4 心の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・時代背景を理解し、描写を基に心情や場面の展開を捉える。 ・場面と場面、場面と描写を結びつけ内容を解釈する。 ・記録や質問をしながら話の内容を捉え、自分の考えをまとめる。 ・読み手の立場に立った内容や叙述の仕方の変え方を理解する。 ・共通語と方言の果たす役割を理解する。 ・小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。 ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解している。 ・比較や分類、関係づけなど情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・共通語と方言の果たす役割について理解している。 ・小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 ・「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈している。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめて、文章を整えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板> ・授業の流れを提示 ・視聴覚資料の紹介 ・書画カメラ> ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有 ・生徒の作品・発表指導 ・一人1台端末> ・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り 	
10	書写(4時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・基本点画や点画のつながりを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本点画の筆遣いや文字の組み立て方、字形の整え方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本点画を理解しながら、学習課題を正しく把握しようとしている。 		

【国語科・1年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元の目標 指導内容等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
11	<p>5 筋道を立てて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ(4時間) ・原因と結果(1時間) ・根拠を示して説明しよう(5時間) ・漢字に親しもう3(1時間) ・話し合いの展開を捉える(1時間) ・話題や展開を捉えて話し合おう(4時間) ・大阿蘇(1時間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の意見とそれを支える根拠との関係を理解する。 ・原因と結果の関係を理解する。 ・根拠を明確にし、伝えたいことの中心が明らかになるよう工夫する。 ・議論するための留意点を理解し、具体的な発言について考える。 ・小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ・意見と根拠を明確にし、互いの発言を結びつけて考えをまとめる。 ・情景を思い浮かべ、言葉の響きやリズムを味わいながら音読する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。 ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。 ・「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめている。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や展開について粘り強く考え、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に原因と結果の関係について理解しようとしている。 ・文章の構成や展開を粘り強く考え、学習の見通しをもってレポートを作成しようとしている。 ・進んで話題の展開を捉え、学習課題に沿って話し合いにおける発言のしかたについて考えようとしている。 ・積極的に互いの発言を結びつけて考えをまとめ、学習の見通しをもってグループ・ディスカッションをしようとしている。 ・進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして朗読しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> <電子黒板> ・授業の流れを提示 ・視聴覚資料の紹介 <書画カメラ> ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有 ・生徒の作品・発表指導 <一人1台端末> ・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り

【国語科・1年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元目標 指導内容等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	6 いにしえの心に触れる ・いろは歌/古典の世界(1時間) ・蓬萊の玉の枝―「竹取物語」から(4時間) ・今に生きる言葉(2時間)	・音読を通して中学3年間の古典学習への見通しをもつ。 ・音読を通じて古典のリズムを味わったり、歴史的仮名遣いを理解したりする。 ・漢文の音読を通じて古典の世界に親しみ、故事成語についての理解を深める。	・音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親んでいる。	・「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。 ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。	・古典にはさまざまな種類の作品があることを積極的に知り、今までの学習を生かして古文を音読しようとしている。 ・進んで古文を音読し、学習課題に沿って描かれている古典の世界を想像しようとしている。 ・積極的に漢文を音読し、今までの学習を生かして故事成語を使った文章を書こうとしている。	<電子黒板> ・授業の流れを提示 ・視聴覚資料の紹介 <書画カメラ> ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有 ・生徒の作品・発表指導 <一人1台端末> ・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り
	書写(6時間) ・楷書と仮名の調和 ・書写 学習を生かして書く一行の中心― ・学習を生かして書く―配列― ・楷書と行書の違い ・行書の筆遣い ・点画の連続と変化、省略	・楷書に調和する仮名の筆使い ・漢字と仮名の大きさや行の中心を理解し形式を整える。	・楷書に調和する仮名の筆遣い、字形を理解している。 ・楷書に調和する仮名の書き方を習得して書いている。 ・漢字と仮名の大きさや行の中心を理解している。 ・漢字と仮名の大きさや行の中心を理解して書いている。 ・楷書と行書の特徴の違いから、行書の点画の特徴を理解している。 ・点画の連続や形の変化の筆遣い、省略を理解して書いている。	・紙面全体の調和、筆遣いや筆脈、配列を考えている。 ・楷書に調和する仮名の筆遣い、字形について考えている。 ・漢字と仮名の大きさや行の中心を考えている。 ・さまざまな形式の書き方を考えている。 ・楷書と行書の特徴の違いから、行書の点画の特徴に気づいている。 ・点画の連続や形の変化の筆遣い、省略を確かめ、自己の課題を考えている。	・楷書に調和する仮名の書き方を習得しようとしている。 ・漢字と仮名の大きさや行の中心に気をつけて書こうとしている。 ・さまざまな形式の書き方に興味・関心をもって取り組んでいる。 ・楷書と行書の特徴の違いから、行書の点画の特徴を知ろうとしている。 ・点画の連続や形の変化の筆遣い、省略をについて、課題意識をもって取り組んでいる。	<電子黒板> ・授業の流れを提示 ・視聴覚資料の紹介 <書画カメラ> ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有 ・生徒の作品・発表指導 <一人1台端末> ・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り

【国語科・1年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元の目標 指導内容等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
12	7 価値を見いだす ・「不便」の価値を見つめ直す(4時間) ・助言を自分の文章に生かそう(2時間) ・漢字に親しもう4(1時間) ・言葉の関係を考えよう(2時間)	・根拠を明確にし、筆者の主張に対する自分の考えを持つ。 ・書評を読み合い、よい点や改善点を見つける。 ・小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ・文の成分や連文節、文の組み立てを理解する。	・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 ・小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・単語の類別について理解している。	・「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。 ・「書くこと」において、根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	・積極的に必要な情報に着目して要約し、自分の考えを文章にまとめようとしている。 ・単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる文の組み立てについて理解しようとしている。	<電子黒板> ・授業の流れを提示 ・視聴覚資料の紹介 <書画カメラ> ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有 ・生徒の作品・発表指導 <一人1台端末> ・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り
	読書に親しむ 考える人になろう ・君たちはどう生きるか ・たのしい制約 ・本の世界を広げよう(1時間)	・読書が自らに役立つことを知り、読書生活について考える。	・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。	・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。	・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを積極的に理解し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。	
	・書写 書き初め(6時間)	行書の特徴、配置を理解する。	・点画の連続や形の変化の筆使い、省略を理解して書いている。	・点画の連続や形の変化の筆使い、省略を確かめ、自己の課題を考えている。	・点画の連続や形の変化の筆使い、省略をについて、課題意識をもって取り組んでいる。	

【国語科・1年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元の目標 指導内容等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
1	8 自分を見つめる					
2	<ul style="list-style-type: none"> ・少年の日の思い出(6時間) ・漢字に親しもう5(1時間) ・単語の性質を見つけよう(2時間) ・随筆二編(2時間) ・構成や描写を工夫して書こう(4時間) ・さまざまな表現技法(2時間) ・漢字の成り立ち／漢字に親しもう6(1時間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面の展開や表現の効果、語り手に着目して、作品を読み深める。 ・単語の分類、品詞や体言・用言について理解する。 ・事物や感情をあらわす語句に着目し、語感を磨き、筆者の思いを捉える。 ・情景や心臓を適切に表す語句を選び、構成や描写を考え書く。 ・表現技法の特徴と効果について理解する。 ・漢字の成り立ちを理解する。 ・一年間の学習を踏まえ材料を整理し、聞き手に注意しながら発表する。 ・詩の言葉や表現を読み味わい、作者の思いについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・単語の類別について理解している。 ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。 ・小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。 ・「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。 ・「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈している。 ・「書くこと」において、根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。 ・今までの学習を生かして、積極的に単語の類別について理解しようとしている。 ・進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。 ・粘り強く文章の構成や展開を考え、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。 ・積極的に比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> <電子黒板> ・授業の流れを提示 ・視聴覚資料の紹介 <書画カメラ> ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有 ・生徒の作品・発表指導 <一人1台端末> ・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り
3	<ul style="list-style-type: none"> ・一年間の学びを振り返ろう(5時間) ・さくらのはなびら(1時間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・一年間の学習を踏まえ材料を整理し、聞き手に注意しながら発表する。 ・詩の言葉や表現を読み味わい、作者の思いについて考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集めた材料を積極的に整理し、今までの学習を生かして要点をフリップにまとめ、発表しようとしている。 ・文章を読んで理解したことに基づいて、積極的に自分の考えを確かなものにし、考えたことを伝え合おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> <電子黒板> ・授業の流れを提示 ・視聴覚資料の紹介 <書画カメラ> ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有 ・生徒の作品・発表指導 <一人1台端末> ・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り

【国語科・1年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元目標 指導内容等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	振り返り ・学習を振り返ろう(3時間)	・学んだことを生かし、自らの考えにつなげる。	・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 ・共通語と方言の果たす役割について理解している。	・「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。 ・「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。 ・「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	・今までの学習を生かして、それぞれの学習課題に粘り強く取り組もうとしている。	<電子黒板> ・授業の流れを提示 ・視聴覚資料の紹介 <書画カメラ> ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有 ・生徒の作品・発表指導 <一人1台端末> ・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り

【国語科・2年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元の目標 指導内容 等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	見えないだけ(1)	・抽象的な概念を表す語句の量を増すととも に、話や文章の中で使うことを通して、語感を 磨き語彙を豊かにすることができる。	・抽象的な概念を表す語句の量を増 すととも、話や文章の中で使うこ とを通して、語感を磨き語彙を豊か にしている。		・進んで語感を磨き、今までの学習 を生かして朗読しようとしている。	<電子黒板> ・授業の流れを提示 ・視聴覚資料の紹介 <書画カメラ> ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有 ・生徒の作品・発表指導 <一人1台端末> ・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り
	「アイスプラネット」(7)	・文章全体と部分との関係に注意しながら、登 場人物の設定のしかたなどを捉えることがで きる。	・抽象的な概念を表す語句の量を増 すととも、話や文章の中で使うこ とを通して、語感を磨き語彙を豊か にしている。	・「読むこと」において、文章全体と 部分との関係に注意しながら、登場 人物の設定のしかたなどを捉えてい る。	・積極的に登場人物の設定のしかた などを捉え、学習課題に沿って考え たことを伝え合おうとしている。	
	問いを立てながら聞く(1)	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との 関係について理解することができる。	・意見と根拠、具体と抽象など情報 と情報との関係について理解してい る。	・「話すこと・聞くこと」において、目的 的や場面に応じて、社会生活の中か ら話題を決め、異なる立場や考えを 想定しながら集めた材料を整理し、 伝え合う内容を検討している。	・進んで論理の展開などに注意して 聞き、今までの学習を生かして疑問 点や確認したい点を考えようとして いる。	
5	「枕草子」(3)	・自分流「枕草子」を書こう	・現代語訳や語注などを手掛かりに 作品を読むことを通して、古典に表 れたものの見方や考え方を知って いる。	・「読むこと」において、文章を読ん で理解したことや考えたことを知識 や経験と結び付け、自分の考えを広 げたり深めたりしている。	・進んで文章を読んで理解したこと や考えたことを知識や経験と結び付 け、学習課題に沿って自分ならではの 季節感を表す文章を書こうとして いる。	<電子黒板> ・授業の流れを提示 ・視聴覚資料の紹介 <書画カメラ> ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有 ・生徒の作品・発表指導 <一人1台端末> ・自己の意見の整理
	多様な方法で情報を集め よう 職業ガイドを作る(5)	・目的や意図に応じて、社会生活の中から題 材を決め、多様な方法で集めた材料を整理 し、伝えたいことを明確にすることができる。	・情報と情報との関係のさまざまな 表し方を理解し使っている。	・「書くこと」において、目的や意図に 応じて、社会生活の中から題材を決 め、多様な方法で集めた材料を整 理し、伝えたいことを明確にしてい る。	・粘り強く多様な方法で集めた材料 を整理し、学習の見通しをもって職 業ガイドを作ろうとしている。	

【国語科・2年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元の目標 指導内容等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	情報整理のレッスン 思考の視覚化(1)	・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。	・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。		・学習課題に沿って、積極的に情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使おうとしている。	・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り
	漢字1 熟語の構成 漢字に親しもう1(1)	・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。		・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	<電子黒板> ・授業の流れを提示 ・視聴覚資料の紹介 <書画カメラ> ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有 ・生徒の作品・発表指導
	「クマゼミ増加の原因を探る」(4)	・文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈することができる。	・話や文章の構成や展開について理解を深めている。	・「読むこと」において、文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈している。	・積極的に文章と図表などを結び付け、学習の見通しをもって考えたことを話し合おうとしている。	<一人1台端末> ・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り
6	思考のレッスン1 具体と抽象(1)	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。		・学習課題に沿って、積極的に具体と抽象の関係について理解しようとしている。	・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り
	魅力的な提案をしよう(5)	・資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。	・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。	・「話すこと・聞くこと」において、資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。	・粘り強く自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫し、学習の見通しをもってプレゼンテーションをしようとしている。	
	漢字に親しもう2(1)	・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。		・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	<電子黒板> ・授業の流れを提示 ・視聴覚資料の紹介 <書画カメラ> ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有 ・生徒の作品・発表指導 <一人1台端末> ・自己の意見の整理

【国語科・2年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元の目標 指導内容 等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	読書を楽しむ(1)	・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。	・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。		・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして、本の魅力や感想を共有しようとしている。	・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り
	翻訳作品を読み比べよう 星の王子さま(1)	・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かすことができる。		・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。	・進んで表現の効果について考え、学習課題に沿って二つの翻訳を比べて感じたことを発表しようとしている。	<電子黒板> ・授業の流れを提示 ・視聴覚資料の紹介
9	言葉2 敬語(1)	・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。	・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。		・今までの学習を生かして、積極的に敬語の働きについて理解しようとしている。	<書画カメラ> ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有 ・生徒の作品・発表指導
	表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く (3)	・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使うことができる。	・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。	・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果をj考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	・積極的に自分の考えが伝わる文章になるように工夫し、学習課題に沿って通信手段を選び、通信文を書こうとしている。	<一人1台端末> ・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り
	[推敲]表現の効果を考える(1)		・敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。		・粘り強く文章を整え、今までの学習を生かして手紙を推敲しようとしている。	<電子黒板> ・授業の流れを提示 ・視聴覚資料の紹介
	「字のない葉書」(3)	・観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えることができる。	・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。	・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。	・進んで表現の効果について考え、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。	<書画カメラ> ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有 ・生徒の作品・発表指導 <一人1台端末> ・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り
	行書と仮名を調和させて書いてみよう(7)	・点画の連続と配列を理解して書くことができる。	・目的や必要に応じて、楷書または行書を選んで書けている。		・目的や必要に応じて、楷書または行書を選んで積極的に書くことができている。	
	聞き上手になろう 質問で思いや考えを引き出す(1)	・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づくことができる。	・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。		・粘り強く論理の展開に注意して聞き、今までの学習を生かして思いや考えを引き出す質問をしようとしている。	<電子黒板> ・授業の流れを提示

【国語科・2年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元の目標 指導内容 等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字 漢字に親しもう3(1)	・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。		・学習課題に沿って、積極的に同音異義語を理解し、漢字を読んだり書いたりしようとしている。	・視聴覚資料の紹介 <書画カメラ> ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有 ・生徒の作品・発表指導 <一人1台端末> ・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り
10	「モアイは語るー地球の未来」(4)	・文章の構成や論理の展開について考えることができる。	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	「読むこと」において、文章の構成や論理の展開について考えている。	・粘り強く論理の展開について考え、学習の見通しをもって筆者の主張に対する自分の考えを文章にまとめようとしている。	
	思考のレッスン2 根拠の吟味(1)	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。		・今までの学習を生かして、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとしている。	
	根拠の適切さを考えて書く 意見文を書く(4)	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。	「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)		<電子黒板> ・授業の流れを提示 ・視聴覚資料の紹介 <書画カメラ> ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有 ・生徒の作品・発表指導
	漢字に親しもう4(1)	・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。		・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	<一人1台端末> ・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り
	「討論」異なる立場から考える(1)	・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。		「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。	・進んで意見と根拠の関係について理解し、今までの学習を生かして異なる立場の人の意見を想定しようとしている。	<電子黒板> ・授業の流れを提示 ・視聴覚資料の紹介

【国語科・2年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元の目標 指導内容等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する (4)	・意見と根拠, 具体と抽象など情報と情報との 関係について理解することができる。		「話すこと・聞くこと」において, 目的 や場面に応じて, 社会生活の中から 話題を決め, 異なる立場や考えを想 定しながら集めた材料を整理し, 伝 え合う内容を検討している。	・進んで互いの立場や考えを尊重 し, 学習の見通しをもって討論しよ うとしている。	< 書画カメラ > ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有 ・生徒の作品・発表指導
11	音読を楽しもう 月夜の浜 辺(1)	・抽象的な概念を表す語句の量を増すととも に, 話や文章の中で使うことを通して, 語感を 磨き語彙を豊かにすることができる。	・抽象的な概念を表す語句の量を増 すとともに, 話や文章の中で使うこ とを通して, 語感を磨き語彙を豊か にしている。	「読むこと」において, 詩の構成や表 現の効果について考えている。	・進んで表現の効果について考え, 今までの学習を生かして詩を朗読し ようとしている。	< 一人1台端末 > ・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り
	源氏と平家 音読を楽しもう 平家物語 (1)	・作品の特徴を生かして朗読するなどして, 古 典の世界に親しむことができる。	・作品の特徴を生かして朗読するな どして, 古典の世界に親しんでい る。		・進んで古典に表れたものの見方や 考え方を知り, 学習課題に沿って朗 読しようとしている。	< 電子黒板 > ・授業の流れを提示 ・視聴覚資料の紹介
	扇の的 ——「平家物語」か ら(3)	・現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読 むことを通して, 古典に表れたものの見方や 考え方を知ることができる。	・現代語訳や語注などを手掛かりに 作品を読むことを通して, 古典に表 れたものの見方や考え方を知って いる。	「読むこと」において, 登場人物の言 動の意味などについて考えて, 内容 を解釈している。	・進んで登場人物の言動の意味に ついて考え, 学習課題に沿って考え たことを伝え合おうとしている。	< 書画カメラ > ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有 ・生徒の作品・発表指導
	仁和寺にある法師 ——「徒然草」から [書く]人物の特徴を捉えて 論じよう(3)	・作品の特徴を生かして朗読するなどして, 古 典の世界に親しむことができる。	・作品の特徴を生かして朗読するな どして, 古典の世界に親しんでい る。	「読むこと」において, 文章を読ん で理解したことや考えたことを知識 や経験と結び付け, 自分の考えを広 げたり深めたりしている。	・積極的に考えたことを知識や経験 と結び付け, 学習の見通しをもって 登場人物について論じる文章を書 こうとしている。	< 一人1台端末 > ・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り
	漢詩の風景(3)	・作品の特徴を生かして朗読するなどして, 古 典の世界に親しむことができる。	・作品の特徴を生かして朗読するな どして, 古典の世界に親しんでい る。	「読むこと」において, 観点を明確 にして漢詩を比較するなどし, 漢詩 の構成や表現の効果について考え ている。	・進んで作品の特徴を生かして朗読 し, 学習課題に沿って好きな漢詩を 選び, その理由を述べようとしてい る。	< 電子黒板 > ・授業の流れを提示 ・視聴覚資料の紹介
12	君は「最後の晚餐」を知っ ているか 「最後の晚餐」の新しさ(4)	・観点を明確にして文章を比較するなどし, 文 章の構成や論理の展開, 表現の効果について 考えることができる。	・情報と情報との関係のさまざまな 表し方を理解し使っている。	「読むこと」において, 観点を明確 にして文章を比較するなどし, 文章 の構成や論理の展開, 表現の効果 について考えている。	・粘り強く観点を明確にして文章を 比較し, 今までの学習を生かして考 えたことを文章にまとめようとしてい る。	< 書画カメラ > ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有 ・生徒の作品・発表指導
	魅力を効果的に伝えよう 鑑賞文を書く(2)	・抽象的な概念を表す語句の量を増すととも に, 話や文章の中で使うことを通して, 語感を 磨き語彙を豊かにすることができる。	・抽象的な概念を表す語句の量を増 すとともに, 話や文章の中で使うこ とを通して, 語感を磨き語彙を豊か にしている。		・進んで表現の効果を考えて描写 し, 今までの学習を生かして鑑賞文 を書こうとしている。	< 一人1台端末 > ・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り

【国語科・2年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元の目標 指導内容等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	漢字に親しもう5(1)	・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。		・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	<電子黒板> ・授業の流れを提示 ・視聴覚資料の紹介 <書画カメラ> ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有 ・生徒の作品・発表指導 <一人1台端末> ・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り
	文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。 (2)	・単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解することができる。	・単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。		・今までの学習を生かして、積極的に単語の活用について理解しようとしている。	
	研究の現場によろそ 日本に野生のゾウやサイが いた頃 クモの糸でバイオリン 読書案内 本の世界を広げ よう(1)	・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。			・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで知り、今までの学習を生かして感想を伝え合おうとしている。	
1	書き初めを書く	・行書の特徴や配列を理解して書くことができる。	・漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく早く書くこと。		・漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を進んで理解して、読みやすく早く書くことができている。	<電子黒板> ・授業の流れを提示 ・視聴覚資料の紹介 <書画カメラ> ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有 ・生徒の作品・発表指導 <一人1台端末> ・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り
	走れメロス [書く]作品の魅力をまとめ、語り合おう (6)	・文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。	・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。	・粘り強く登場人物の言動の意味などについて考え、学習の見通しをもって作品の魅力を文章にまとめようとしている。	
	漢字に親しもう6(1)	・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。		・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	

【国語科・2年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元の目標 指導内容 等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
	文法への扉3 一字違いで大違い(2)	・単語の活用, 助詞や助動詞などの働き, 文の成分の順序や照応など文の構成について理解する。	・単語の活用, 助詞や助動詞などの働き, 文の成分の順序や照応など文の構成について理解する。		・今までの学習を生かして, 積極的に助詞や助動詞の働きについて理解しようとしている。	
2	構成や展開を工夫して書こう 「ある日の自分」の物語を書こう(4)	・表現の工夫とその効果などについて, 読み手からの助言などを踏まえ, 自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。	・話や文章の構成や展開について理解を深めている。	・「書くこと」において, 表現の工夫とその効果などについて, 読み手からの助言などを踏まえ, 自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。	・粘り強く文章の構成や展開を工夫し, 学習の見通しをもって物語を創作しようとしている。	<電子黒板> ・授業の流れを提示 ・視聴覚資料の紹介 <書画カメラ> ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有 ・生徒の作品・発表指導 <一人1台端末> ・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り
	学習活動や日常生活に生かして書こう。	・目的や必要に応じて, 効果的に伝える工夫の仕方を理解することができる。	・目的や必要に応じて, 楷書または行書を選んで書いている。		・目的や必要に応じて, 楷書または行書を選んで積極的に書くことができている。	
	言葉3 話し言葉と書き言葉(2)	・話し言葉と書き言葉の特徴について理解することができる。	・話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。		・今までの学習を生かして, 積極的に話し言葉と書き言葉の特徴について理解しようとしている。	<電子黒板> ・授業の流れを提示 ・視聴覚資料の紹介 <書画カメラ> ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有 ・生徒の作品・発表指導 <一人1台端末> ・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り
	漢字3 送り仮名(2)	・第1学年までに学習した常用漢字に加え, その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読むことができる。また, 学年別漢字配当表に示されている漢字を書き, 文や文章の中で使うことができる。	・第1学年までに学習した常用漢字に加え, その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また, 学年別漢字配当表に示されている漢字を書き, 文や文章の中で使っている。		・学習課題に沿って, 積極的に漢字を読んだり, 書いたりしようとしている。	<電子黒板> ・授業の流れを提示 ・視聴覚資料の紹介 <書画カメラ> ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有 ・生徒の作品・発表指導 <一人1台端末> ・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り
	国語の学びを振り返ろう テーマを決めて話し合い, 壁新聞を作る(5)	・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使うことができる。	・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。	・「書くこと」において, 伝えたいことがわかりやすく伝わるように, 段落相互の関係などを明確にし, 文章の構成や展開を工夫している。	・粘り強く文章の構成や展開を工夫し, 今までの学習を生かして壁新聞を作ろうとしている。	・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り
	木(2)	・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに, 話や文章の中で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにすることができる。	・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに, 話や文章の中で使うことを通して, 語感を磨き語彙を豊かにしている。	・「読むこと」において, 詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け, 自分の考えを広げたり深めたりしている。	・進んで詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け, 学習課題に沿って作者のものの見方について話し合おうとしている。	<電子黒板> ・授業の流れを提示 ・視聴覚資料の紹介 <書画カメラ>

【国語科・2年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元の目標 指導内容 等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
3	学習を振り返ろう(3)	・自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫することができる。	・言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づいている。	・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。	・進んで登場人物の設定のしかたや根拠の適切さを考え、今までの学習を生かして、学習課題に取り組もうとしている。	・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有 ・生徒の作品・発表指導 <一人1台端末> ・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り

【国語科・3年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元の目標 指導内容等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4月	「ない」の違いがわからない？ 文法のまとめ(7時間) 学びて時に之を習ふ 「論語」から(2時間)	・中学校で学習した文法についての考え方、知識を整理する。 ・歴史的背景に注意して「論語」を読み、長く受け継がれてきた名言に触れる。 ・人間の生き方についての孔子の考え方を自分たちと関連づけて考える。	・単語の類別について理解するとともに、単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて理解している。 ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。	・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	・単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて進んで理解し、これまでの学習を生かして課題に取り組もうとしている。 ・人間、社会、自然などについて積極的に自分の意見をもち、今までの学習を生かして、朗読したり考えを伝え合ったりしようとしている。	〈電子黒板〉 ・授業の流れの提示 ・視聴覚資料の紹介 〈指導者用デジタル教科書〉 ・本文や課題の提示 〈書画カメラ〉 ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有 〈一人1台端末〉 ・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り
5月	握手(3時間) 君待つと 万葉古今新古今(6時間)	・登場人物の言動を表す語句に着目し、その意味を考える。 ・作品の展開を踏まえて人物像を捉え、その生き方について考えを深める。 ・詠まれた状況や歴史的背景を理解し、和歌の世界に親しむ。 ・作者の心情や描かれた情景を読み取り、表現の効果などについて考える。	・理解したり、表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。	・文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えようとしている。 ・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えようとしている。 ・和歌の表現のしかたについて評価している。	・粘り強く物語の展開のしかたを捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。 ・進んで和歌の表現のしかたについて評価し、見直しをもって鑑賞文を書こうとしている。	〈電子黒板〉 ・授業の流れの提示 ・視聴覚資料の紹介 〈指導者用デジタル教科書〉 ・本文や課題の提示 〈書画カメラ〉 ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有 〈一人1台端末〉 ・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り
6月	夏草 「おくのほそ道」から (6時間) わたしを束ねないで(1時間) 書写 硬筆 行書と仮名の調和(2時間)	・歴史的背景などに注意し、表現のしかたや文体の特徴に着目して読み味わう。 ・文章に表れている作者のものの見方や感じ方について考える。 ・詩に込められた作者の思いを読み取り、自分の可能性について考える。 ・行書と仮名の調和や配列を理解して書く。	・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・行書と仮名の調和を理解して書いている。	・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 ・詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	・人間、社会、自然などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習を生かして発表したり文章にまとめたりしようとしている。 ・詩を読んで進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。 ・これまでの学習を生かし、漢字の行書の連続、省略、変化と、仮名の調和、配列を理解して書こうとしている。	〈電子黒板〉 ・授業の流れの提示 ・視聴覚資料の紹介 〈指導者用デジタル教科書〉 ・本文や課題の提示 〈書画カメラ〉 ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有 〈一人1台端末〉 ・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り

評価計画・ICT活用計画

【国語科・3年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元の目標 指導内容等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
7月	<p>俳句の可能性、俳句を味わう(4時間)</p> <p>熟語の読み方、漢字の造語力(1時間)</p> <p>和語・漢語・外来語(1時間)</p> <p>慣用句・ことわざ・故事成語(1時間)</p> <p>書写 硬筆 多様な表現による文字(2時間)</p>	<p>・俳句の特徴について理解を深める。 ・内容や表現のしかたに着目して、俳句を評価しながら読み深める。 ・俳句に表現されている季節や情景、作者の思いなどを捉える。</p> <p>・重箱読み・湯桶読み・熟字訓について理解する。 ・翻訳語や新しい語を作るうえで、漢字のもつ造語力が大きく貢献していることを理解する。</p> <p>・和語・漢語・外来語について、語の成り立ちや特徴を理解し、適切に使い分ける。</p> <p>・慣用句やことわざ、故事成語などの伝統的な言い回しの語義を理解し、その表現の効果を考えるとともに、自分の表現に生かす。</p> <p>・身のまわりの多様な表現をとおして文字文化の豊かさにふれ、効果的に文字を書く。</p>	<p>・理解したり、表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の種類とその特徴について理解を深めている。</p> <p>・第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。</p> <p>・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語・漢語・外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き、語彙を豊かにしている。</p> <p>・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き、語彙を豊かにしている。</p> <p>・身のまわりの文字の表現効果について理解を深めている。</p>	<p>・文章の構成や表現のしかたについて評価している。 ・表現のしかたを考えるなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。</p>	<p>・進んで文章の種類とその特徴について理解し、学習課題に沿って、鑑賞文を書いたり俳句を創作したりしようとしている。</p> <p>・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。</p> <p>・進んで和語・漢語・外来語を理解し、今までの学習を生かして相手や場面に応じて適切に使い分けようとしている。</p> <p>・積極的に慣用句やことわざ、故事成語を理解し、今までの学習を生かして短文を作ったり調べたりしようとしている。</p> <p>・身のまわりの文字の表現効果について考え、日常生活に生かそうとしている。</p>	<p>〈電子黒板〉 ・授業の流れの提示 ・視聴覚資料の紹介</p> <p>〈指導者用デジタル教科書〉 ・本文や課題の提示</p> <p>〈書画カメラ〉 ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有</p> <p>〈一人1台端末〉 ・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り</p>
9月	<p>作られた「物語」を越えて(6時間)</p> <p>文章の種類を選んで書こう 修学旅行記を編集する(2時間)</p> <p>報道文を比較して読もう(1時間)</p>	<p>・文章における具体と抽象の関係を捉える。 ・論説の特性を踏まえて読み、文章の構成や論理の展開を評価する。</p> <p>・文章の種類とその特徴について理解を深める ・取材した内容に適した文章の種類を選び、構成を工夫して書く。</p> <p>・新聞記事を比較して読み、文藻の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価する。</p>	<p>・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。</p> <p>・文章の種類とその特徴について理解を深めている。</p> <p>・情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。</p>	<p>・文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。 ・文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価している。</p> <p>・目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。 ・文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。</p> <p>・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ・文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価している。</p>	<p>・進んで文章の構成や論理の展開のしかたについて評価し、情報と情報との関係について深めた理解を生かして、文章にまとめようとしている。</p> <p>・進んで文章の種類を選択し、学習の見通しをもって情報を編集し文章にまとめようとしている。</p> <p>・文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて進んで評価し、学習課題に沿って報道の文章を比較し、考えをまとめようとしている。</p>	<p>〈電子黒板〉 ・授業の流れの提示 ・視聴覚資料の紹介</p> <p>〈指導者用デジタル教科書〉 ・本文や課題の提示</p> <p>〈書画カメラ〉 ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有</p> <p>〈一人1台端末〉 ・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り</p>

【国語科・3年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元の目標 指導内容等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
10月	人工知能と未来、人間と人工知能と創造性(2時間) 説得力のある構成を考えよう スピーチで社会に思いを届ける(10時間)	・内容の信頼性や客観性を確かめながら、観点を決めて二つの文章を比較し、自分の考えをまとめる。 ・根拠となる情報の信頼性を確かめる。 ・社会生活の中から話題を決め、相手を説得できるように、話の構成を工夫する。	・情報の信頼性の確かめ方を理解している。 ・情報の信頼性の確かめ方を理解している。	・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 ・目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ・自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。	・積極的に二つの文章を批判的に読み、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。 ・相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構成を工夫し、今までの学習を生かして自分の考えを話そうとしている。	〈電子黒板〉 ・授業の流れの提示 ・視聴覚資料の紹介 〈指導者用デジタル教科書〉 ・本文や課題の提示 〈書画カメラ〉 ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有 〈一人1台端末〉 ・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り
11月	誰かの代わりに(2時間) 情報を読み取って文章を書こう グラフを基に小論文を書く(4時間) 多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く(2時間) 故郷(3時間) 書写 毛筆 行書を深める(1時間)	・抽象的な概念を表す語句の文脈上の意味に注意しながら読む。 ・筆者のものの見方や考え方を捉え、社会や人間について自分の意見をもつ。 ・具体的な情報を基に、自分の考えをまとめる。 ・論理展開などについて推敲したり助言したりして、よりよい文章にする。 ・具体的な題材を基に、その価値などについて評価する ・表現のしかたを考えたり資料を引用したりして、説得力のある文章を書く。 ・人の生き方や社会との関わり方を考えるうえでの、読書の意義を理解する。 ・小説を批判的に読み、時代や社会の中で生きる人間の姿について考える。 ・点画の変化と連続を理解して書く。	・理解したり、表現したりするために必要な語句の量を増やし、慣用句や四字熟語などについての理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・具体と抽象などの情報と情報との関係について理解を深めている。 ・具体と抽象などの情報と情報との関係について理解を深めている。 ・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 ・点画の変化と連続を理解して書いている。	・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 ・論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。 ・文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。 ・表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫している。 ・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えようとしている。 ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	・人間、社会、自然などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習を生かして、理解したことや考えたことについて議論したり文章にまとめたりしようとしている。 ・論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえて粘り強く推敲し、学習の見直しをもって小論文を書こうとしている。 ・粘り強く表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりし、学習の見直しをもって批評文を書こうとしている。 ・粘り強く文章を批判的に読み、今までの学習を生かして小説を批判したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。 ・点画の変化と連続を理解して書こうとしている。	〈電子黒板〉 ・授業の流れの提示 ・視聴覚資料の紹介 〈指導者用デジタル教科書〉 ・本文や課題の提示 〈書画カメラ〉 ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有 〈一人1台端末〉 ・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り

評価計画・ICT活用計画

【国語科・3年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元の目標 指導内容等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
12月	温かいスープ(1時間) 紛争地の看護師(2時間) すいかは幾つ必要？ 文法を生かす(3時間) 書写 毛筆 書き初め(3時間)	・筆者の考えを読み取り、国際社会における人と人との関係について、考えを深める。 ・ノンフィクションを読み、考えたことを話し合ったり文章にまとめたりして、本の世界を広げる。 ・日常の言語生活で。文法の学習で得た知識や考え方を生かす方法について理解する。 ・行書の特徴や配列を理解して書く。	・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 ・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 ・単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めている。 ・行書の特徴や配列を理解して書いている。	・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 ・助詞や助動詞の働きなどを進んで振り返り、今までの学習を生かして練習問題に取り組もうとしている。 ・行書の特徴や配列を理解して書こうとしている。	・人間、社会、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。 ・進んで読書の意義と効用について理解し、今までの学習や経験を生かして、ノンフィクションを読んで考えたことをまとめようとしている。 ・助詞や助動詞の働きなどを進んで振り返り、今までの学習を生かして練習問題に取り組もうとしている。 ・行書の特徴や配列を理解して書こうとしている。	〈電子黒板〉 ・授業の流れの提示 ・視聴覚資料の紹介 〈指導者用デジタル教科書〉 ・本文や課題の提示 〈書画カメラ〉 ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有 <一人1台端末> ・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り
1月	聞き上手になろう(2時間) 合意形成に向けて話し合おう(7時間)	・相手や場に応じた適切な言葉遣いをする。 ・相手の話の展開を予測しながら聞き、質問で話しを引き出す。 ・複数の情報や発言を結び付けて考える。 ・立場や考え方の違いを認め、互いの考えを生かしながら、合意形成に向けて話し合う。	・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	・話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。	・粘り強く話の展開を予測しながら聞き、今までの学習を生かして質問したり評価を述べたりしようとしている。 ・合意形成に向けて粘り強く考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって話し合おうとしている。	〈電子黒板〉 ・授業の流れの提示 ・視聴覚資料の紹介 〈指導者用デジタル教科書〉 ・本文や課題の提示 〈書画カメラ〉 ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有 <一人1台端末> ・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り
2月	三年間の総復習(9時間)	・三年間の学びを、テーマごとに復習し、総合問題練習に取り組む。	・漢字や語句、古典の知識について理解を深め、語感を磨き、語彙を豊かにしている。	・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	・積極的かつ粘り強く課題に取り組もうとしている。	〈電子黒板〉 ・授業の流れの提示 ・視聴覚資料の紹介 〈指導者用デジタル教科書〉 ・本文や課題の提示 〈書画カメラ〉 ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有 <一人1台端末> ・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り

【国語科・3年】

月	領域名・単元名 (時数)	単元の目標 指導内容等	観点別評価規準・評価方法等			ICTを活用した学習活動等 (主に活用するICT)
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
3月	三年間の歩みを振り返ろう(7時間) 書写 硬筆 三年間の学習の成果を生かそう お世話になった人に手紙やメッセージカードを書く(2時間)	・三年間の学びを振り返りながら、テーマを決めて学びを総括する。 ・これまでの学習を生かして、効果的に文字を書く。	・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、慣用句や四字熟語などについても理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語・漢語・外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 ・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。 ・これまでの学習を生かして、効果的に文字を書いている。	・場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。 ・文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。	・粘り強く言葉を選んだり、構成を工夫したりし、今までの学習を生かして、文章にまとめたり、友達の発表を聞いて質問したり評価したりしようとしている。 ・これまでの学習を生かして効果的に文字を書き、日常生活に生かそうとしている。	〈電子黒板〉 ・授業の流れの提示 ・視聴覚資料の紹介 〈指導者用デジタル教科書〉 ・本文や課題の提示 〈書画カメラ〉 ・参考資料の紹介 ・生徒作品の共有 〈一人1台端末〉 ・自己の意見の整理 ・他者との意見交流 ・授業内容の振り返り